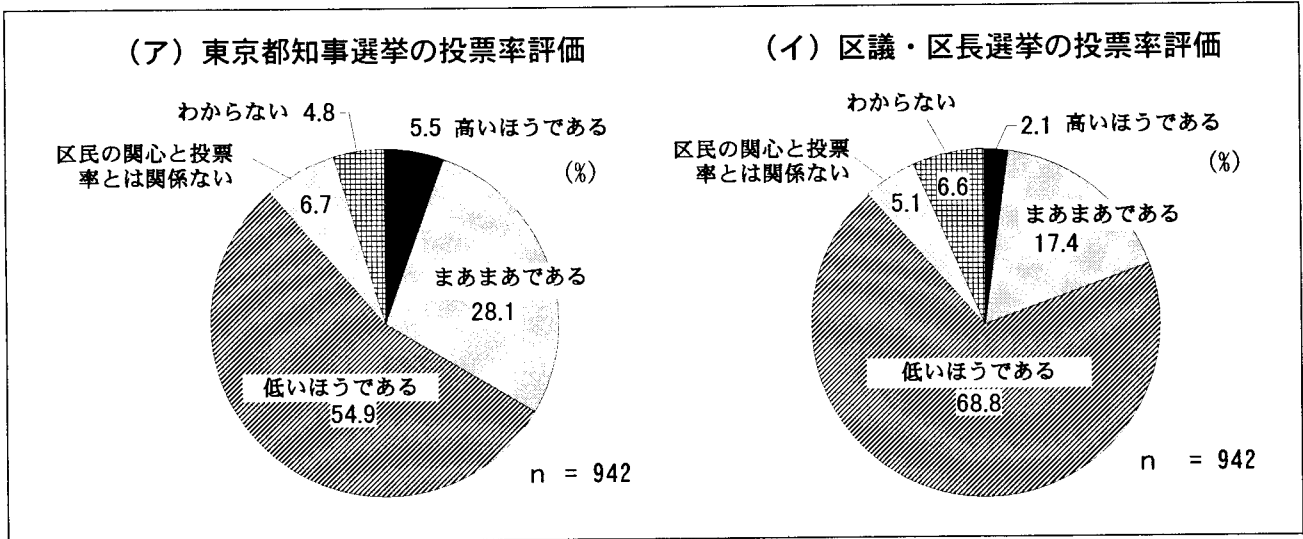


投票について

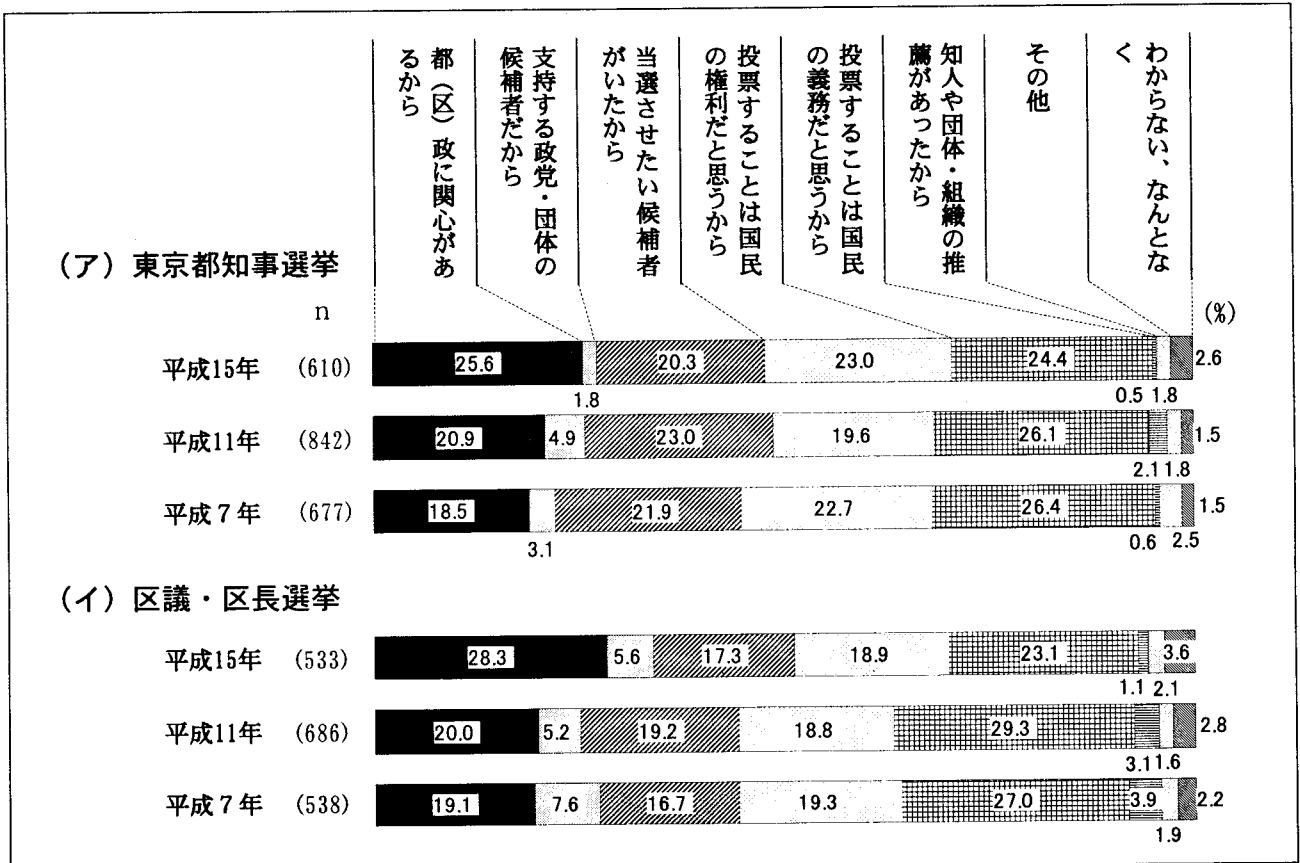
◇投票率について……都知事選挙では「低いほうである」が5割台半ば、区議・区長選挙では「低いほうである」が7割に近い

[実際の投票率]

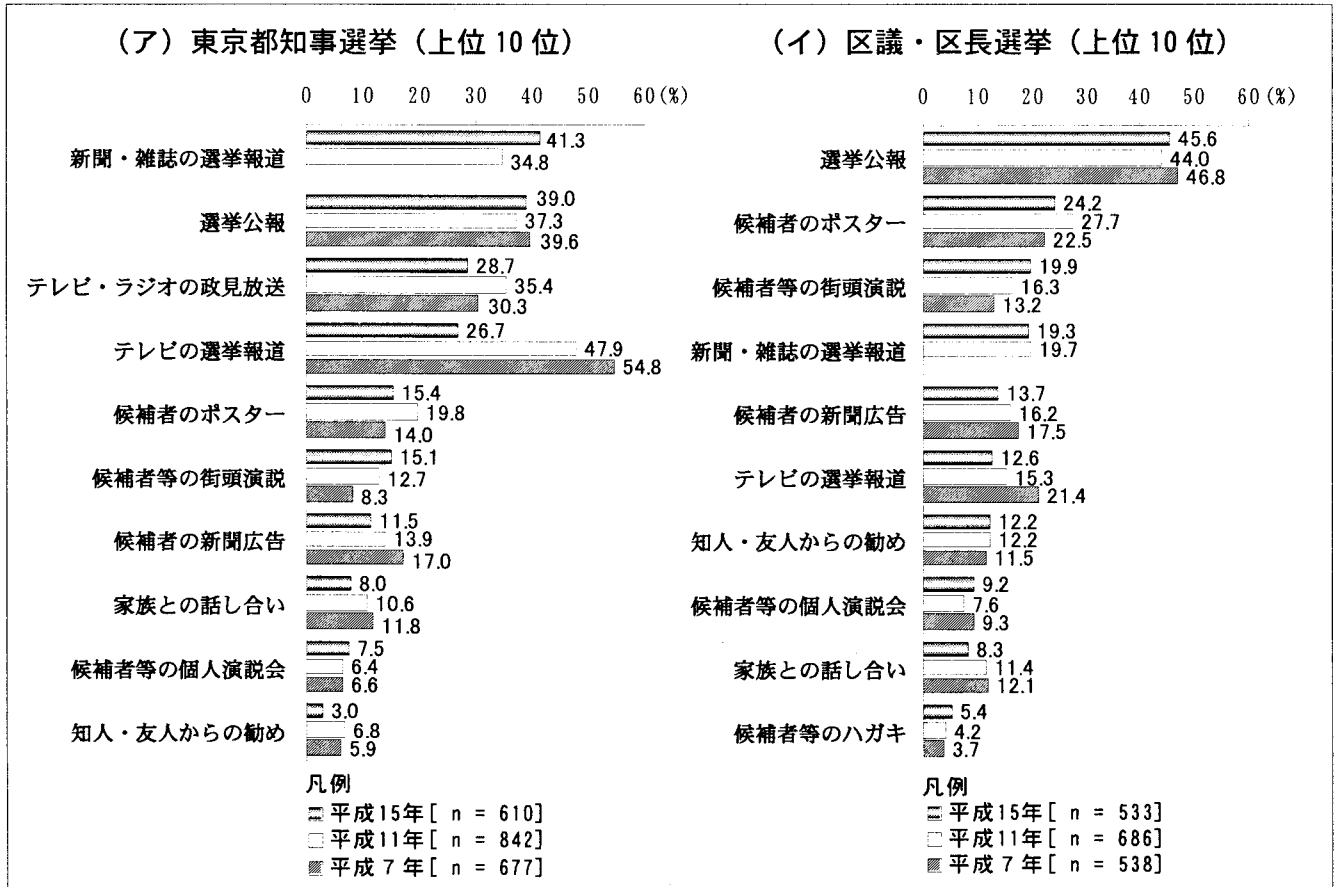
選挙名	投票率 (今回)	H11年 (前回)	H7年 (前々回)
東京都知事選挙	44.69%	57.40%	51.44%
杉並区議会議員選挙	39.82%	42.87%	37.83%
杉並区長選挙	39.81%	42.85%	37.79%



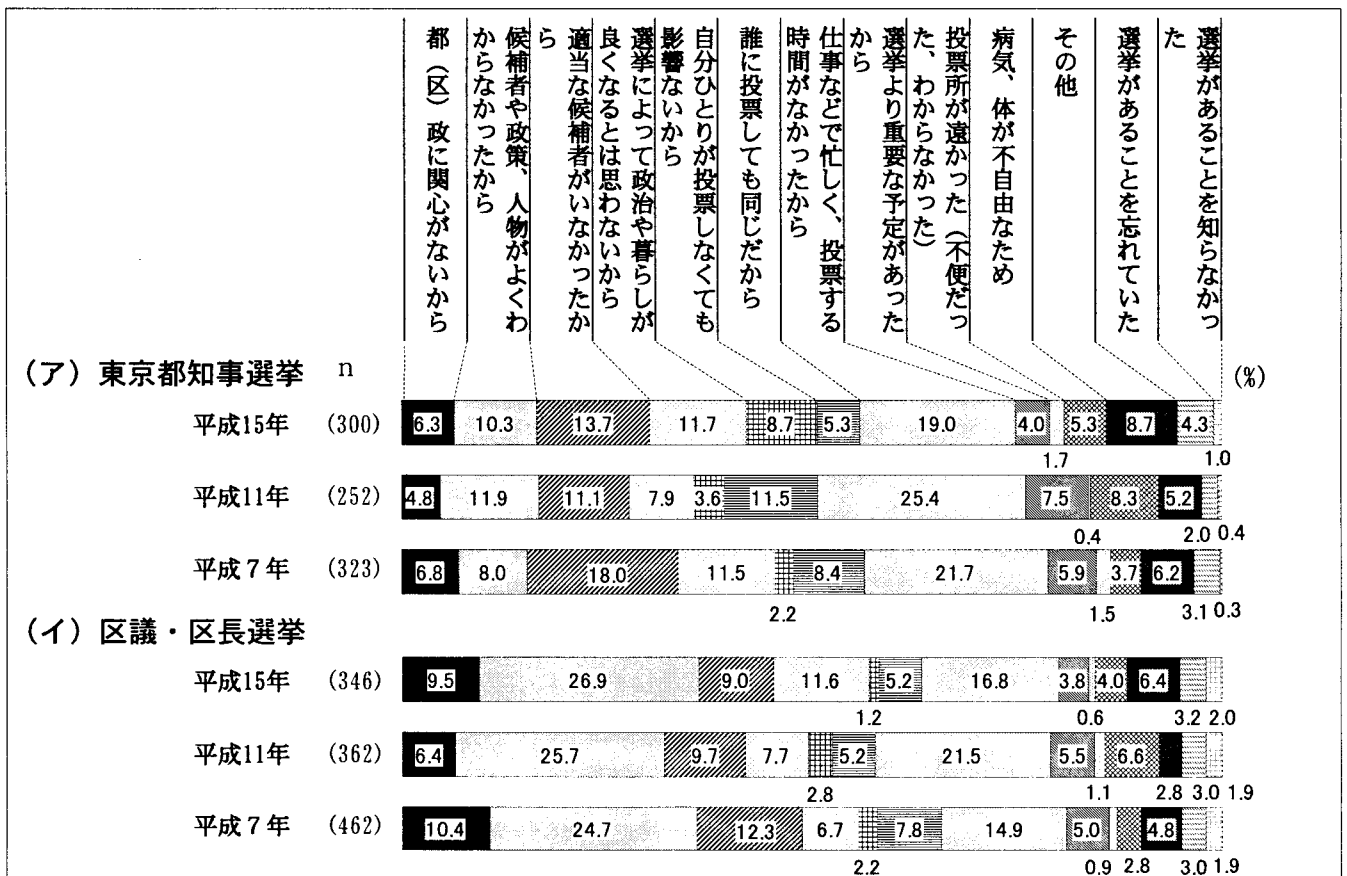
◇投票理由は……都知事選挙、区議・区長選挙ともに「都(区)政に関心があるから」が多い



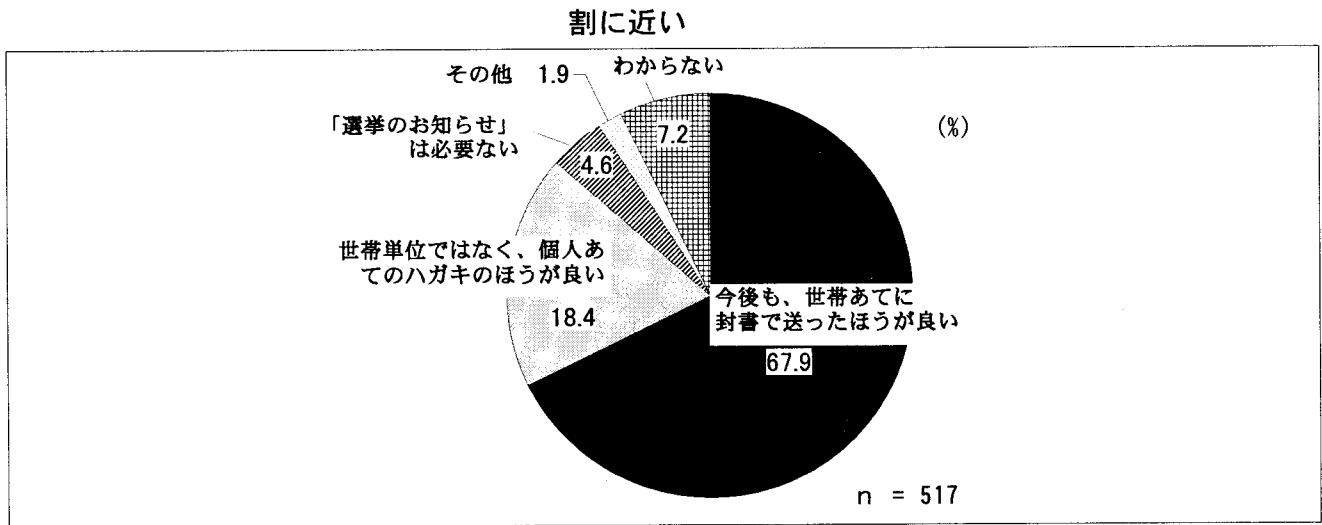
◇候補者選定に役立ったもの…… 都知事選挙では「新聞・雑誌の選挙報道」と「選挙公報」が4割前後、区議・区長選挙では「選挙公報」が4割台半ば



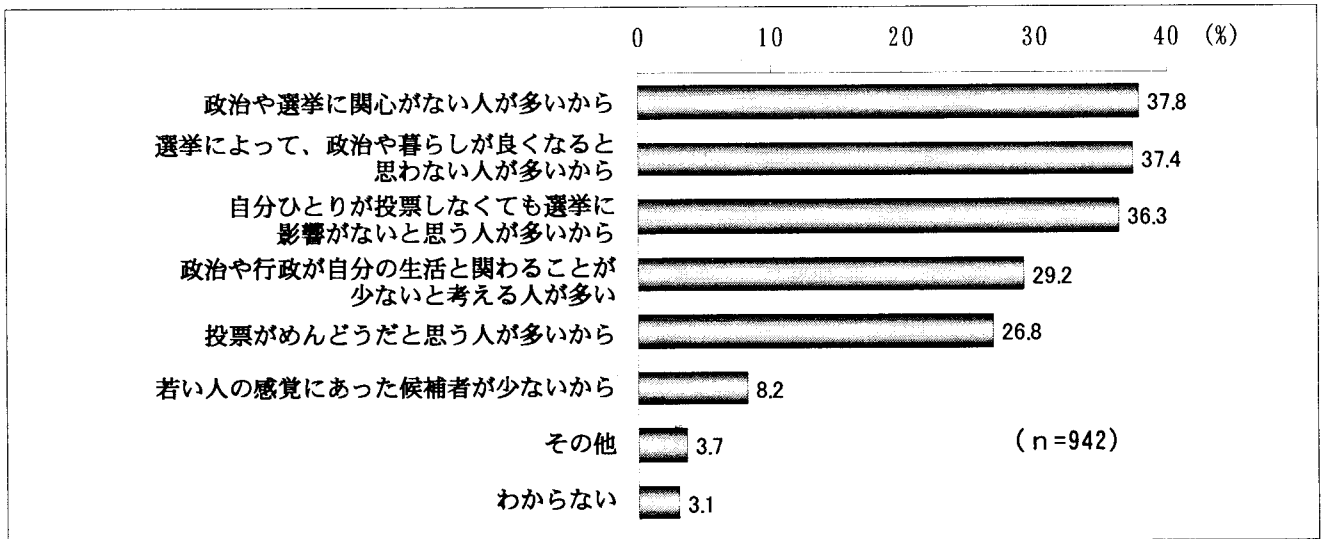
◇投票しなかった理由…… 都知事選挙では「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」が2割に近い。区議・区長選挙では「候補者や政策、人物がよくわからなかったから」が2割台半ば



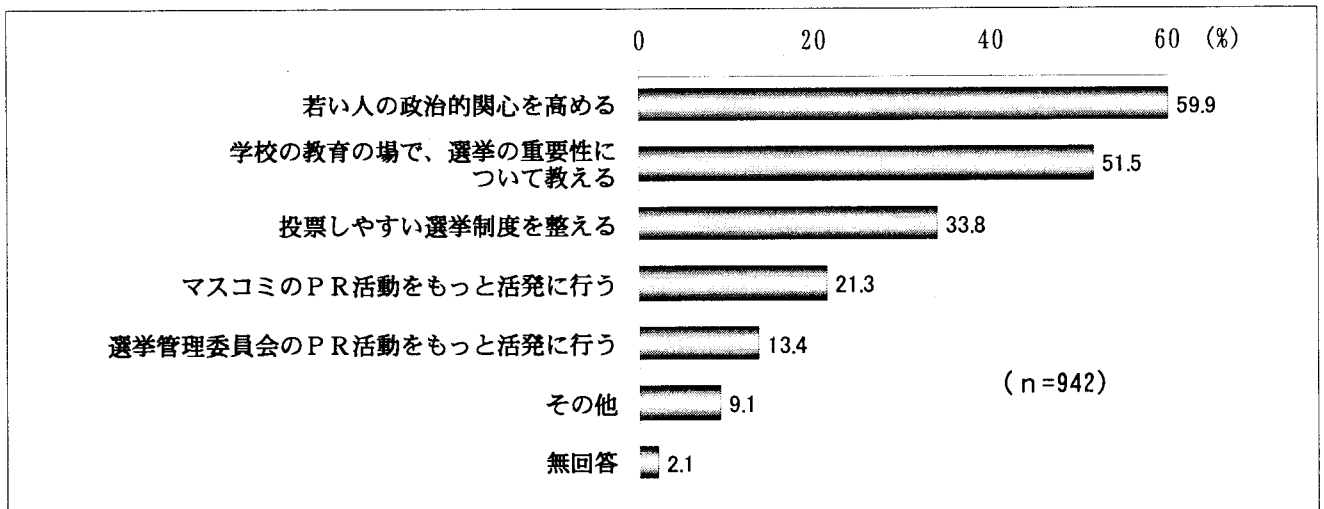
◇「選挙のお知らせ」については……………「今後も、世帯あてに封書で送ったほうが良い」が7



◇若者の低投票率の原因は……………「政治や選挙に関心がない人が多いから」、「選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから」、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がないと思う人が多いから」の3つがそれぞれ3割台半ばを超える

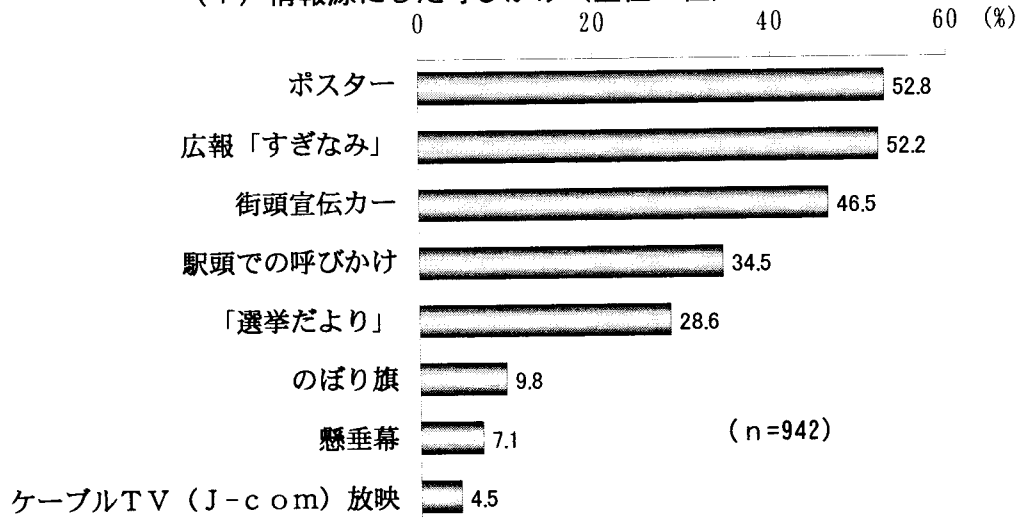


◇若者の投票率向上のための具体案……………「若い人の政治的関心を高める」が6割

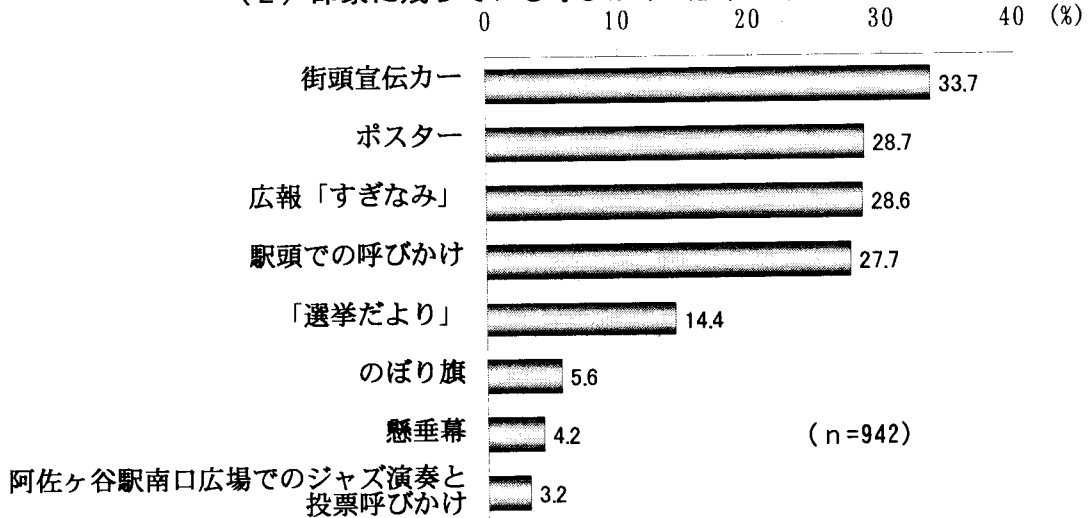


◇選挙の呼びかけについて……………選挙の情報源は「ポスター」と「広報すぎなみ」が5割を超える。印象に残っているのは「街頭宣伝カー」が3人に1人の割合。今後も実施してほしいのは「広報すぎなみ」が4割。

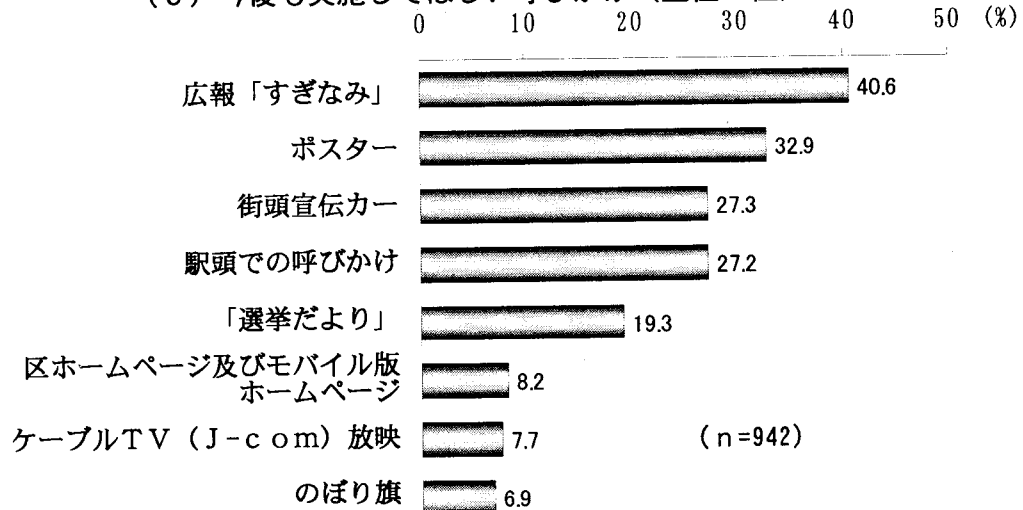
(1) 情報源にした呼びかけ (上位8位)



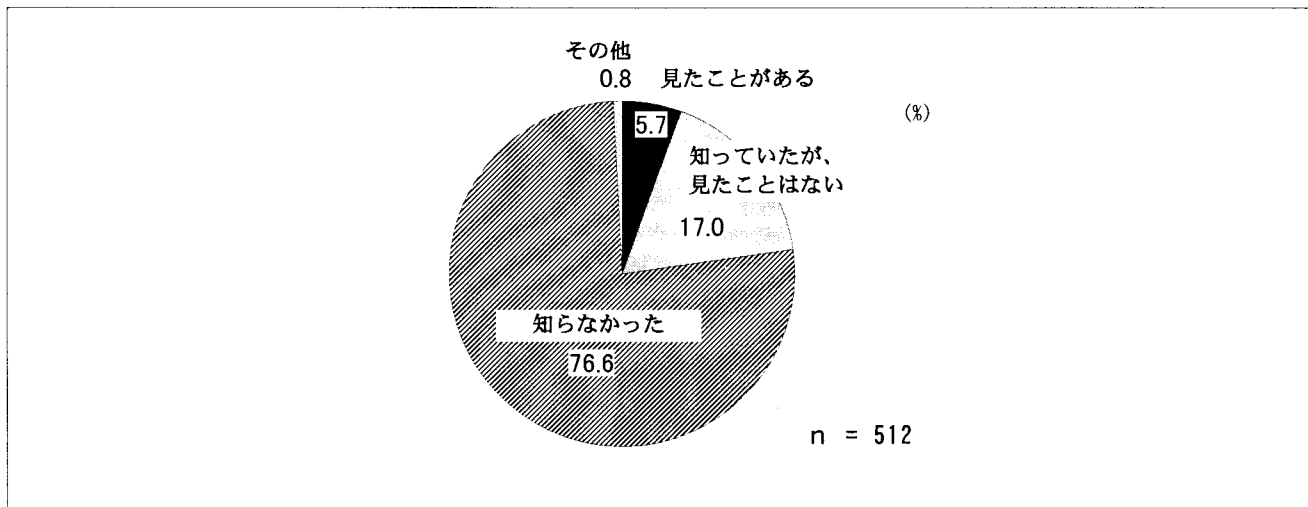
(2) 印象に残っている呼びかけ (上位8位)



(3) 今後も実施してほしい呼びかけ (上位8位)

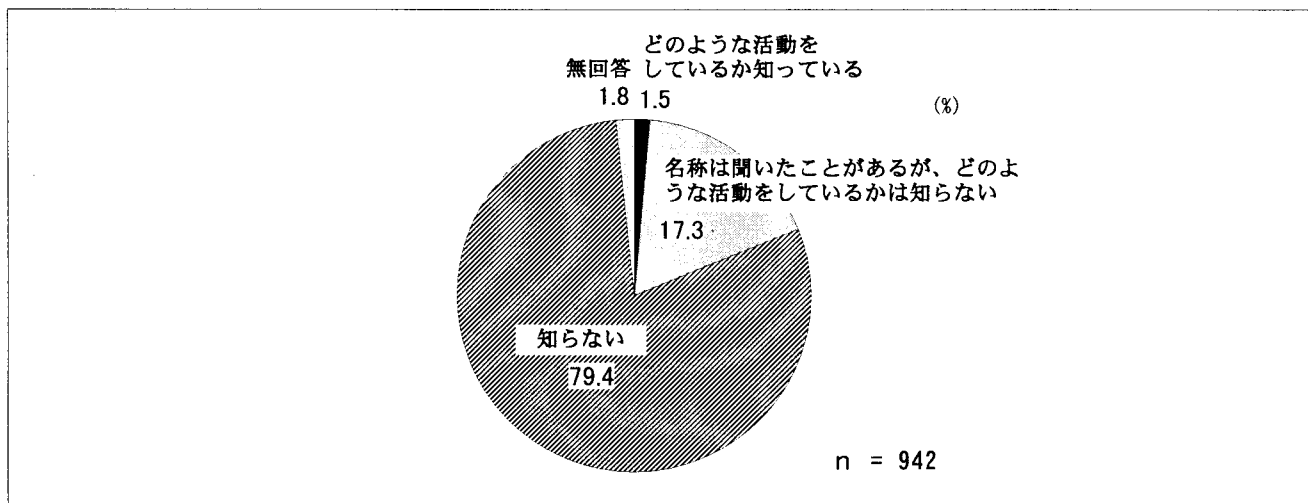


◇ホームページ「選挙特集」の閲覧度……………「知らなかった」が7割台半ば



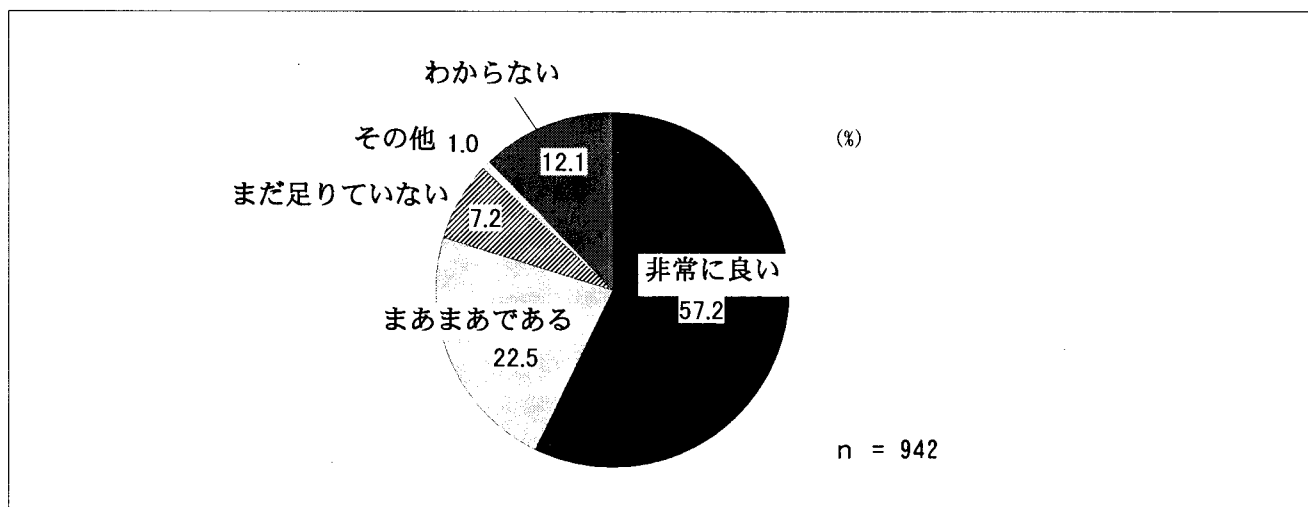
明るい選挙推進活動について

◇「明るい選挙推進委員」の周知状況は……………「知らない」が8割に近い



投票所のバリアフリーについて

◇投票所のバリアフリーについて……………「非常に良い」が5割台半ば



◇投票所のバリアフリーに必要なこと……投票所のバリアフリーには何が必要かを自由に記入してもらったところ、各意見あわせて449件の回答を得た。なお、一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えている。

以下はそれらをまとめ、件数の多い順に並べ替えたものである。

意見の内容	件数
・介添人や誘導スタッフ等の充実。	75
・自宅で投票できるようにする。	33
・投票所内、通路、グラウンドの整備。	32
・車いすでも投票しやすい、低い記帳台や投票箱を用意する。	31
・手すり設置。	31
・スロープ設置。	28
・投票所に行くまでの道のりも、バリアフリーにする。	24
・現状のままでよい。	22
・段差解消。	21
・心のバリアフリー。	19
・床の整備。	13
・当事者の意見聴取、要望把握。	12
・投票所の数を増やしたり、行きやすい場所に変える。	10
・視覚障害を持つ方への配慮。	10
・送迎。	9
・トイレの整備。	9
・案内などに点字を用いる。	8
・文字を大きくする。	6
・案内板の設置。	6
・筆記が困難な方への配慮、筆記方式の改正。	6
・駐車場の整備。	6
・もっとアピールをした方がよい。	6
・音声ガイドの導入。	4
・聴覚障害を持つ方への配慮。	4
・選挙期間、時間の延長。	3
・見やすい候補者掲示。	2
・休憩所の設置。	2
・一般的なバリアフリー、バリアフリー全般。	7
・その他	10